

バイオディーゼル実証機を見学

理事と政策審議委員が合同会議で

内発協では、「自家発電設備に係る新技術調査・研究事業」の実施テーマの一つとして、平成24年度から「バイオディーゼル燃料（BDF）等の自家発電設備への適合性調査」（以下、BDF適合性調査）を実施しています。

このBDF適合性調査では、BDF100%（以下、B100燃料）を使用してディーゼルエンジン発電設備のカーボンの堆積、腐食等を調査し、適切なメンテナンスにより連続運転を維持できるかの検証を行い、運転、保守のガイドライン等を作成することを目的とした実証試験を行っています。

本実証試験は、滋賀県琵琶湖カントリー倶楽部（以下、琵琶湖CC）に設置したコージェネレーション設備を使用し、7月12日より正式に運転が開始されています。

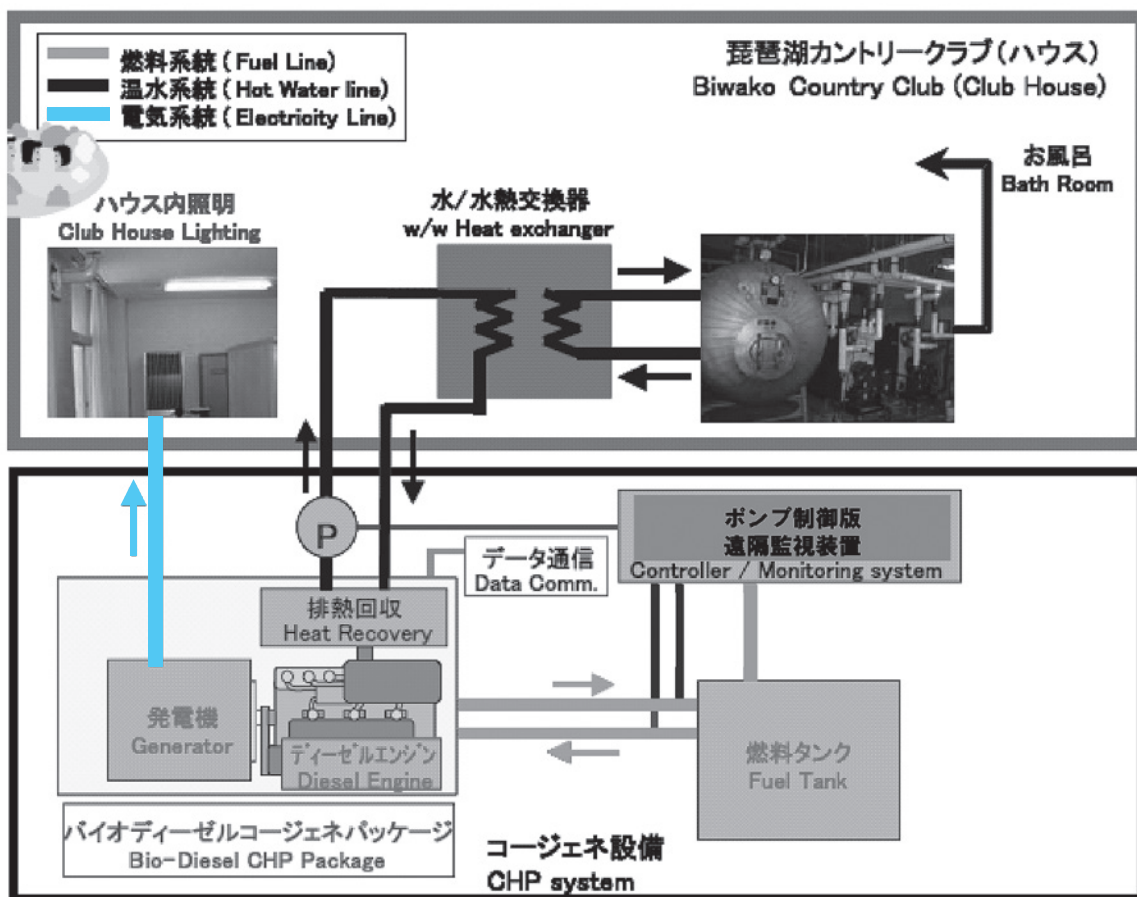
（内発協ニュース2012年8月号参照）

平成24年10月18日に、滋賀県ロイヤルオークホテルにて理事会・政策審議委員会合同会議が開催されました。その際、本実証試験の見学会が、琵琶湖



パワーポイントを用いて事業の概要を説明

琵琶湖カントリー倶楽部（ハウス）にて理事会・政策審議委員会合同会議が開催されました。その際、本実証試験の見学会が、琵琶湖



実証試験機システムフロー図

CCにて希望者と事務局の19名で行われました。

まず、事務局よりBDF適合性調査テーマの概要説明が行われ、次に実証試験の委託先であるヤママー株式会社のR&D戦略部 企画グループによる実証試験の概要及び試験機の仕様の説明がパワーポイントにより行われました。その後、実証試験機の設備及び装置の見学が行われました。最後に、試験の経過及びまとめの報告が行われ、質疑応答が行われました。

実証試験の概要及び試験機の仕様の説明では、実証試験の目的やスケジュール及びシステムフローや発電設備・原動機の仕様について説明が行われました。

経過報告等では、9月末の最新データ測定時に約750時間運転経過、見学会当日では約850時間運転経

過しており、実証試験機自体には問題が起きていなく潤滑油の交換もしていない旨が説明されました。

十分な質疑応答もなされ、見学会は盛況のうちに終わり、解散となりました。見学者は、その後一路、合同会議会場へ向かいました。

途中測定結果の概要

項目	単位	計測区分	
		初回	500h
運転時間	h	53	480
計測日	-	2012/7/3	2012/8/29
発電電力量	kWh	569	4742
平均発電電力 (通算)	kW	9.81	9.80
燃費	g/kWh	300.5	295.7 [9/4, 528h]
黒鉛濃度	DPF入口	0.34 [7/11, 123h]	0.37
	DPF出口	0.01未満 [7/11, 123h]	0.01未満
排ガス	NOx DPF入口/出口	590/140	71/計測不可 ※
	CO DPF入口/出口	160/6	120/-
	THC DPF入口/出口	23/11	17/-
	SOx DPF入口/出口	0.5未満 /0.5未満	-
潤滑油の 燃料希釈率	%	-	2.60
潤滑油の 性状	-	異常なし	異常なし

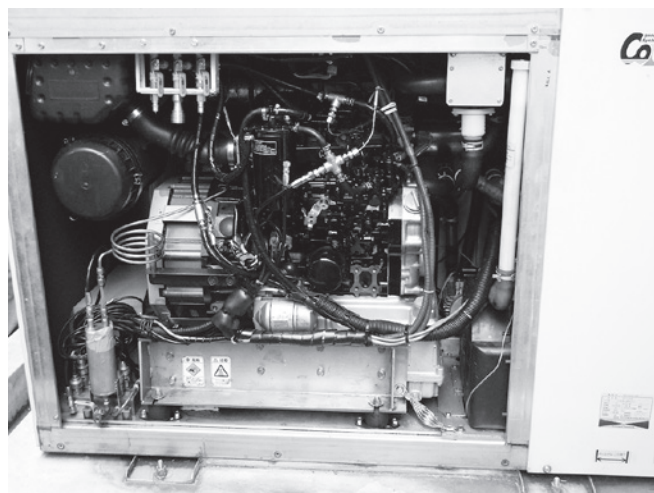
※ ガス採取時の水分混入の過多により、DPF出口は計測不可（DPF入口の分析結果も信頼性低）



実証試験機を見学する理事と政策委員



実証試験機の構造について説明を受けた



発電装置の本体